



# ジュゴン Vol.114

## ちゃんぷるニュース

**SDCC 2021. 1. 26**  
Save the Dugong Campaign Center

### CONTENTS

- 2/3 情勢・菅内閣は退陣を
- 2021年の国際的取り組み
- 4/5 防衛省は鳴音公開を
- 高垣喜三さんを偲んで
- 6/7 わんさか通信★ジュゴンのわ
- ジュゴンマスクのご紹介
- 8 街角ジュゴン



皆さん、お元気でしょうか。「明けましておめでとう」と言えない年明けですが、本年も宜しくお願いします。今年の元日は辺野古での初興しの祈りも中止。皆さんの健康祈願は、西原町の高台から久高島に上る初日の出を拝し行いました。それにしても、2020年は何か起きると予感してはいましたが、新型コロナウイルスのパンデミックがこれほどの猛威になるとは、予想外でした。改めて「神」の実在と力の凄さを強く感じた次第です。

## 【2021年】年頭のご挨拶を申し上げます

その「カ=コロナ」により世界の様相が一変。既に多くの人命が失われています。特に英米中心のアングロサクソン軍国主義現代文明圏に犠牲者が多いのは何故なのか。やはり、そうすることでしか軍拡競争を止められない人類を救うことはできないという神の怒りの処方でしょうか。

「十戒」と人類の疫病との戦いの歴史を考えると面白いことに気づきます。沖縄の島々では毎年シマクサラシの祭が行われています。それは疫病の災禍が神の怒りによるものと理解しての祭で、神の怒りが「島を越し走る」ようにと豚や山羊を潰してご馳走を作り、門や結界を示す二本の柱と左撚りの縄を豚の血で染めて、神の教えを守っていることを証し誓う祭で、キリスト教の過越祭と同じです。

では何故キリスト教文明圏の英米欧がコロナ変異種の攻撃を受けてまでの神の怒りに触れたのか。ズバリ言って「十戒」を守っていないからです。特に「偽証してはならない」「殺してはならない」に反し国家による戦争を肯定してきた文明は、これ以上許せないということでしょう。その英米に負けじと開国した日本軍国主義天皇制国家も同罪。その神国復活を目指した安部・菅自民党の画策も、それを知らんぷりし軍事支配を続ける米国もポツダム宣言違反。終に莫大な軍事予算が人類を救わないことを人々が気付き始めています。急ぎ医療体制を立て直して次なる災禍に備え、ジュゴンを先頭に自然再生の未来創造を興して行かねばなりません。SDCCの活動が益々重要になります。

去年は活動も制限されて寂しい年でしたが、何より辺野古闘争の過労により高垣喜三さんを失ったことは悲しみでした。ただ彼の笑顔は今もみんなを励ましています。喜三さんの名は「喜ぶサン」。ジュゴンを護る闘いはこれからだと、皆さんに感謝しています。

海勢頭豊（うみせど ゆたか：SDCC 共同代表）

[WEB] <http://www.sdcc.jp/>

[EMAIL] [info@sdcc.jp](mailto:info@sdcc.jp)



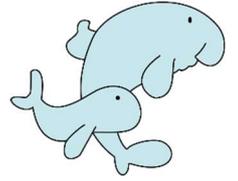
11/27 環境省に署名提出しました（4面）



新署名「沖縄辺野古大浦湾のジュゴンの海を守るための署名」スタートします

情 勢 (事務局)

# コロナと辺野古～菅内閣を退陣させましょう



政府は首都圏 1 都 3 県につづいて大阪府など 7 府県、合計 11 都府県に緊急事態宣言をしました。1 月 18 日開会される通常国会では感染症法を改正し、入院拒否やコロナ調査非協力者に刑事罰を科すことなどを検討しています。補償ではなく刑事罰を科すことは監視社会強化につながります。大阪府では「重症者数が高止まりのままでは 2 週間後には入院病床が無くなる」と病院の実態が報告されています（1 月 9 日朝日新聞）。コロナ患者受け入れ病院は経営危機に瀕していますが、政府は赤字補填ではなく定額給付で済まそうとしています。経済を優先する菅内閣は、昨年 11 月第 3 波コロナ感染が拡大しているにもかかわらず GO TO トラベルを継続し、1 2 月 5 日に臨時国会を閉じました。その結果が、緊急事態宣言となったのです。今こそ、入院増床や医者・看護師の増員、徹底した PCR 検査の拡充をすべきです。東京新聞は「民主主義再生のために…選挙で民意を表明する最大の機会」（1 月 5 日社説）とまで主張しています。今年は衆議員選挙の年です。

民意を無視して辺野古新基地建設を進めてきたのも安倍・菅内閣です。昨年 1 2 月、辺野古土砂投入から 2 年経ちました。県民の反対で辺野古沿岸域（浅瀬）の埋め立ては進んでいません。焦る沖縄防衛局は K9、K8 護岸に土砂運搬船を接岸させるた

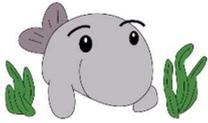
めにスパッド台船を設置しました。沖縄県は「赤土などの排出でサンゴや海草への影響が増える」と運用中止を求めています。大浦湾（深場）の軟弱地盤設計変更申請の内容審査も、1 万 9 千件の意見書が大きな力を発揮しています。昨年 1 2 月、名護市議会は「設計変更」を黙認する名護市長の意見書を否決。沖縄防衛局の辺野古ダム掘削工事の中止と、大浦湾のアオサンゴの天然記念物指定を求める決議を採択しました。今後、4 月下旬にも想定される沖縄県知事の「変更申請」不承認や、政府防衛省による知事不承認取り消し・訴訟などの闘いが重要です。国際自然保護連合（IUCN）は「米軍基地建設に伴う海草藻場の消滅が懸念」（19 年 1 2 月声明）と表明しています。沖縄ジュゴンが昨年 2 月から大浦湾の施工区域内で鳴音（叫び声）を出していますが、防衛省はその録音データの公表を拒否しています。また、ジュゴンが餌場を求めて夜間に回遊しているにもかかわらず、土砂運搬船の夜間航行（環境保全措置違反）の中止すら拒否しています。新たに署名（紙とオンライン）を始めます。国民の命と暮らしを守らない菅内閣を退陣させましょう。



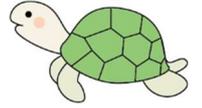
スパッド台船 (PHOTO 琉球新報社)



K8 護岸に設置作業中の台船  
(PHOTO カヌーチーム辺野古ぶる一鈴木公子さん提供)  
(琉球新報社)



# 2021年の国際的取り組みについて



2021年はジュゴン保護と辺野古新基地建設阻止に向けてこれまで以上に重要な年になります。以下、国際担当の立場から、鍵を握る米国の政治状況への見解と予定している取り組みを紹介します。

米国ではバイデン大統領が誕生し、民主党が上下院とも過半数を占めることになりました。バイデン政権も新基地建設計画「維持」の立場だと報道されていますが、新政権と民主党が環境や人権問題にトランプ政権よりも重きを置く政策を展開することは確かです。またトランプ政権下で本来の取り組みが出来なかった米市民社会や政府機関が再び機能していくことも期待が持てます。

辺野古反対の沖縄の民意や軟弱地盤やジュゴンを含む環境の問題をバイデン政権の政策理念と関係づけ、米国の市民社会と提携し、米政府や連邦議会に示していくことが必要です。

具体的な取り組みとしては、まず昨年7月に71団体で米国哺乳類委員会に提出したジュゴン保護の要請文を踏まえて、同委員会に再度働きかけを予定しています。環境破壊をもたらす地盤改良工事の詳細やジュゴン鳴音の問題など、働きかけの材料は十分にあります。玉城デニー知事による防衛局の設計変更申請の不承認の判断が下されるタイミングで働きかけていきます。

二つ目の取り組みは、「ホープスポット」であるカルフォルニア州モンレー湾の市民社会と連帯を結び、辺野古の問題を米国でより広めていくことです。モンレー湾は米国政府の海洋保護区でもあり、保護、観光、研究/教育の取り組みのモデルとされています。同じホープスポットとして辺野古・大浦湾はモンレーから何を学べるか、協力を得ることができるのか。その模索を通して連帯が生まれていくと考えます。興味深いことに、保護区指定に貢献したのはオバマ政権下の国防長官レオン・パネッタ氏で、現在でも研究機関をもち環境保護政策に取り組んでいます。同機関への働きかけも予定しています。

3点目は、辺野古問題をこれまでも積極的に連邦議会の軍事委員会や会計審査院に訴えてきた米国市民社会のメンバーとの連帯を強め、さらに連邦議会に働きかけていくことです。環境問題と並行して、民主主義や人権の問題を示し、建設強行が米政府の政治理念や国益に反するものであるという主張を展開していきます。

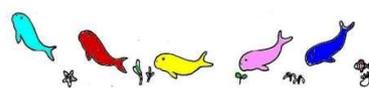
その他に IUCN の海牛目類専門家グループへの報告や、ホープスポットの取り組みについてのミッション・ブルーへの報告行っていきます。これらの国際的取り組みは、辺野古・大浦湾の現場、沖縄、日本国内での市民社会での効果的な取り組みが基盤となります。連携、協力して頑張っていきたいです。（国際担当 吉川秀樹）

## 脱炭素？ 原発推進の2050年グリーン成長戦略

（自然エネルギー自給体制へ）

昨年12月末、政府は2050年の脱炭素化に向けた「グリーン成長戦略」を発表しました。臨時国会冒頭に、菅首相が所信表明演説で「温暖化ガス排出量を2050年までにゼロにする」と宣言後、わずか2か月でまとめられたものです。「脱炭素を国際的にも成長の機会ととらえる時代になった」（加藤官房長官）と明らかにしました。地球温暖化対策の道筋を定めた国際的な枠組み「パリ協定」の圧力に譲歩したのですが、輸出競争力強化の視点しかありません。乗用車の新車を30年代半ばまでに100%電動自動車に、電気車、燃料電池車、ハイブリッド車の割合は今後詰める。そのために2兆円基金を創設しました。また、「2050年総発電量に占める再生エネルギーの割合は5割程度、残りは原発と火力発電で4割。原子力を脱炭素と位置づけ、引き続き最大限活用する」（朝日新聞12月26日）としています。原発推進の姿勢は変えていません。菅首相は「脱炭素」「グリーン」を分かっているのでしょうか。グレッタ・トゥンベルさんが国連に参加し、世界の若者が「地球の危機」をデモや集会で叫んでいることを。グリーンが太陽光・風力・水力・地熱・バイオマスなどから作られる再生エネルギー（電気）であることを。また、原発が地球・自然・人の命を守るための再生エネルギーと相いれないことを。

EU や米国では「グリーン・（ニュー）ディール」として、グリーンなエネルギーや技術開発に関する財源議論が進められています。米国大統領候補であったバニー・サンダースは「グリーン・ニューディール」で、安定した雇用を作り出し、エネルギー効率のいい公共住宅や公共交通機関を拡張することで貧困対策を進めることを考えています。菅内閣が「グリーン」を強調するのなら「エネルギー資源の安定と経済的確保のため」（経産省）とするエネルギー・ミックスを見直すべきです。輸出競争力ではなく、国民生活目線で、産業界や地方自治体、NGO と意見交換すべきです。自然エネルギー財団（孫正義会長）は「政府は原子力・水力・地熱発電を優先しているので…九州電力川内原発が再稼働したことにより太陽光・風力発電の出力抑制をする日が増えている」と批判しています。政府が原発推進政策を改めないの、産業界は再生エネルギー投資に及び腰になっているのです。新型コロナ感染拡大の今、自然エネルギーの自給体制づくりこそ重要です。



（事務局 蛭川義章）

伊波議員と

# 争点が浮き彫りになった政府交渉



昨年11月27日、参議院議員会館で「ジュゴンの海を守れ！11/27 政府交渉を実施しました。沖縄県選出の伊波洋一参議院議員とともに防衛省・環境省と交渉を持ちました。

防衛省交渉の冒頭、フィリピンの子供達から届いた「ジュゴンを守れ！大騒ぎはがき」66枚を提出しました。

防衛省交渉では、昨年2月以降、工事施工区域内で200回以上確認されている「ジュゴンらしき鳴音」の録音データの公開を迫りました。防衛省は、「録音データは契約書にある成果物ではないから提出することにはなっていない」と居直りました。「ジュゴンらしき鳴音」を公開すれば工事に影響を与えることが必至だけに、かたくなに拒否をしています。

参加者は、「業者と追加契約して録音データを成果物として提出を求めれば良いこと。なぜそれができないのか？」と追求しました。後日送られてきた防衛省の回答では、「契約を変更して録音データの提出を求めることは考えていない」と鳴音データの提出をあくまでも拒否しました。

また、埋め立て土砂運搬船の夜間航行の中止について求めましたが、防衛省は「夜間航行は海上工事（施行海域内）に当たらない」と強弁し、ジュゴンへの影響を無視した回答でした。

環境省交渉の冒頭、2651筆（うちフィリピンから445筆）「沖縄ジュゴン、ノグチゲラ、ヤンバルクイナを守ろう」の署名を提出しました。

環境省交渉では、「ジュゴンと地域社会との共生推進の取り組み」（H28年環境省）において、ジュゴンの鳴音記録が掲載されていることを受けて、環境省から「ジュゴンの鳴音データがあれば公開する」との回答を受けましたが、後日送られてきた回答では、「（ジュゴンの）音声データは有していない」と防衛省と足並みをそろえたかのような内容でした。日本政府としてジュゴンの鳴音データを公開したくないことが浮き彫りになりました。

私たちは、「ジュゴンの鳴音録音データの公開、埋め立て土砂運搬船の夜間航行中止」のオンライン署名を開始し、日本政府を追及していきます。

（首都圏 三村昭彦）



フィリピンの子供たちからのハガキ66枚を手渡しました

## 政府交渉での伊波洋一議員の挨拶（骨子）

交渉実現に尽力していただいた伊波洋一参議院議員に、国会報告をしていただきました。

沖縄県選出の伊波議員は参議院外交防衛委員会に所属し、米軍基地内外の環境保護規制が弱く十分な環境保護ができていないと国会での質疑や資料等の要求をされています。

（挨拶骨子）

超等派の野党議員でつくる沖縄等米軍基地問題議員懇談会は、毎月会合を持っていますが、基地建設の現地視察や防衛省職員から聞き取り調査をするなどの活動を担っています。

9月にはジュゴンの鳴音について防衛省職員に質疑を行い、録音データ等資料の提出要求をしていますが、出してくれない。経路地点における鳴音の状況についても、明らかにするのを避けている。

大浦湾の軟弱地盤の埋め立て工事が困難であ

大浦湾の軟弱地盤の埋め立て工事が困難であるのに、強行しようとしています。しかし、完成まで12年かかるとしながら米国の軍事戦略の変化を考えていない。なぜ今沖縄、辺野古なのか矛盾をつけて行きましょう。

おかしいことはおかしい、と交渉に繋げていきたい。

（東京 蟹江由美子）



挨拶する伊波洋一議員

追悼

# 高垣喜三君を偲ぶ～友人の一人として



高垣喜三君（71歳 沖縄県本部町瀬底）が12月1日、急性硬膜下血腫で急死しました。喜三君とともに枚方（ひらかた）市政を変えるために、「市民の会」活動に取り組んだことから、本部に移住する経緯は聞いていました。高垣夫妻が「わびあいの里」の活動（注1）、とりわけ謝花悦子理事長を支えるために本部町に移住したのは10年前でした。

喜三君は「わびあいの里」常務理事として「記録を残し記憶を伝えるために」、毎年3月の「ゆずり合い 助けあい学び合う会」学習会や写真展。伊江島「団結道場」の補修・保存の協力金集め（19年3月完成）などに取り組みました。本部島ぐるみ会議の一員として、塩川港での土砂搬出作業船の早朝監視を一人から始め、今やオール沖縄の活動になっています。ジュゴン保護キャンペーンセンターでは、沖縄県交渉、沖縄防衛局交渉、ジュゴン訴訟シンポジウム（沖縄大学、パレット久茂地など）、名護市長選挙の不正投票監視団や東恩納琢磨市会議員選挙などに取り組む、毎号ニュースで全国の仲間に伝えてきました。伴侶の縁（ゆかり）さんの元職場ぶどうの木保育園の沖縄ツアー（年長さんと保育士のみ、伊江島、辺野古テント村、保育園との交流など）を支えることで、沖縄と保育園（子ども）のつながりを深めてきました。

喜三君のまじめで温かい人柄は、葬儀に参列した人びとからも明らかです。12月4日自宅での家族葬に海勢頭豊共同代表、吉川秀樹国際担当とともに参加しましたが、「わびあいの里」の謝花悦子さんは私に「高垣さんの移住と常務理事活動に感謝するとともに、今後里運営に不安」をこぼされていました。

ぶどうの木保育園の木村園長夫妻は泊まり込みで縁さんを支えていました。葬儀は雨の中、本部島ぐるみ会議の皆さんが取り仕切られ、出棺時には豊さんが見送る歌「祈り」（創作曲）を歌い、「高垣さん ありがとう」と書いた模造紙をかかげ見送りました。

葬儀場の駐車場は平和市民連絡会のバス2台と自家用車で一杯。式場にはオール沖縄会議の共同代表をはじめ辺野古高江の闘いを担っている200人が参列。喜三君がよく歌った「やんばるの歌（心騒ぐ青春の歌）」がテープから流れると、辺野古合唱団が「われらの思いは それはただ一つ 麗しきうちな 非武の島よ」と歌い出し、参列者が斉唱する中で焼香が行われました。

SDCCスタッフの小平さんが作ったジュゴンもジュゴン折り紙で飾り付けられた写真パネルの横に仲間入りしました。縁さんが「沖縄の平和運動に一生懸命関わってきた夫を誇りに思います」と語ったお礼の言葉に、感動する声が多く聞かれました。辺野古の運動の力強さを感じる素晴らしい葬儀でした。

亡くなる前日、11月27日防衛省交渉について「ジュゴン鳴音の録音データ公表と夜間航行中止を」が今後の闘いの軸になると電話で話し合いました。彼の遺志を受け継いで、埋め立て工事を中止に追い込みます。

（蜷川義章）

\*注1 伊江島で土地闘争に取り組んだ故阿波根昌鴻さんの足跡を伝える里



伊江島団結道場での高垣夫妻



高垣喜三さん



雨の中でも笑顔の喜三さん 本部町島ぐるみ会議の旗とともに

# 交流広場

今回は、毎年じゅごんの里ツアーの中で普天間の基地周辺の市民の生活環境などについて教えて戴くなどでお世話になっている、そいそいハウスについてご紹介です。



## 普天間居場所づくりプロジェクト そいそいハウスのご紹介

普天間居場所づくりプロジェクトとは『軍事基地の街から「平和」と「人権」の街普天間として発信。誰もが安心してつどえる居場所を創り、特に次代を担う子ども達に焦点をあてた居場所を創る』(FBページより)。

2016年7月に子どもたちの居場所として開所した「そいそいハウス」は、毎日大勢の子どもたちで大賑わい。大人の居場所(会議・学習会・ゆんたく)としてもレンタルできます。

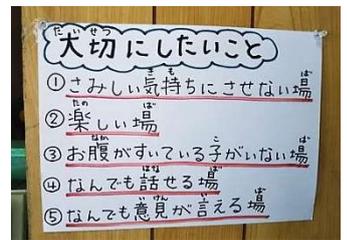
平和・人権事業としては、リベラルツーリズム 命どう宝ツアーを開催。基地のある生活を見て・聞いて・知って・肌

で感じるためのツアーで、基地周辺、普天間第二小学校、佐喜真美術館などに案内していただきます。所要時間は約2時間、1人から参加可能で、1人1000円(学生800円)。

今、この「居場所づくり」「平和・人権事業」に加えて、平和や人権について語り合える「民泊・カフェ」のオープン準備中です。ボランティア、カンパも募集中!

※FBで情報発信中 子どもたちのようすは「#そいそいハウス」を、基地周辺案内は、「#普天間居場所作りプロジェクト」をご覧ください。

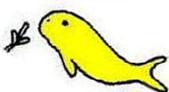
**そいそいハウス**  
 沖縄県宜野湾市新城1丁目6-2  
 TEL&FAX : 098-893-5723  
 Mobile : 090-4470-6801  
 ゆうちょう銀行 当座01750-0-145563  
 他行からの場合 店番179 当座0145563  
 口座名 フテンマイバショツクリプロジェクト



SDCC のジュゴンの里ツアーでの基地周辺案内の様子。普天間第二小学校前で、米軍ヘリから落下した窓の実物大レプリカを手に説明する赤嶺さん。

### 「海をあげる」

上間陽子著 (発行: 筑摩書房)



ベストセラー『裸足で逃げる』から3年、著者初のエッセイ集です。生きづらい社会だと言われる。しかし、当事者でない多くの人は、本当にはわかっていないのか、気づいていないのか、見て見ぬふりなのか、著者は日常の生活から見てくることを綴る。宜野湾市に住む著者は、汚染されている水道水を子供に飲ませるのをやめた。嘉手納基地近くの北谷浄水場が水源だ。近くに住む90代の女性から、戦場を逃げ惑った3か月、23人だった家族・親戚が喜屋武岬では4人になっていたと聞いた。あの時も、そして、今もどこに逃げたらいいのか…。

2019年1月、県民投票を実現させるために元山さんがハンストをした時のこと。その5日間はとても寒く雨模様だった。「ごめんね、ごめんね」「こんなことまでさせて、おじさんはつらくて、つらくて…」涙ながらに署名をしていく人たち。鉄瓶でお湯を沸かしてせめて鉄分だけ

でもと届ける、優しい人たち。子供連れも多かったそうで、1つ1つがとても重い。

結果だけでは見えなかったことが、読むうちに見えてくる。一人の若者が動き、広がった。こうして確かな思いが受け継がれていくのだと思う。

「海に土を入れたら魚は死ぬ? ヤドカリは死ぬ?」と娘が聞いてくる。マヨネーズのように柔らかい地盤の海を埋め立てられると本当に思うのだろうか? 声をあげて泣きたい気持ちは伝わるのだろうか? 2018年12月14日土砂は入れられた。「私の家の上空では今日もオスプレイが飛んでいる。ここで小さい女の子を育てている。…この海をひとりで抱えることはもうできない。だからあなたに、海をあげる」と締めくくられる。多くの人に覗いてみたい。そして、私は1つ1つをていねいに深く考えたいと思っている。(関西 池側恵美子)

# ジュゴン&紅型のマスク♡

コロナ禍で必需品になったマスク。SDCC 特製のマスクで心爽やかに過ごしませんか。

A.ジュゴンマスクはジュゴンとヤンバルクイナのプリントで、縁に紅型布をあしらっています。

Bは紅型布を使ったマスク。AもBも紅型布の色は白、ベージュ、赤、ピンク、水色、青の6種類から選べます。このマスクを付けていると、ジュゴン、辺野古の海を守ろう!の会話も弾みますよ♪

ご希望の方は、①お名前、ご住所、連絡先のメールアドレスかお電話番号 ②種類(AかBか) ③色 ④枚数を明記の上、メール(info@sdcc.jp)または、FAX(06-6353-0514)でお申し込みください。なお、手作りですので、発送までにしばらくお待ちいただくことがあります。

※表も裏も面素材。裏はダブルガーゼ。

※こちらから発送時期、振込先をご連絡いたしますので、必ずメールアドレスか電話番号をお知らせください。



A. ジュゴンマスク 縁は紅型布



B. 紅型布マスク

**1枚 400円**

送料 1~2枚 94円 3枚 120円

4~7枚 140円

8枚以上 210円~



お申込みお待ちしております



## ①んさか通信★ジュゴンの①

### 2021今年もサクラ咲く

新たな1年が始まりました!沖縄では1月の風物詩、収穫された「サトウキビの山」が現れ、三月中旬まで製糖工場はフル稼働です。そして日本一早く咲く桜「カンヒザクラ」も開花しました。また名護が名産の冬の味覚「タンカン」の初出荷も、今年は台風の影響も少なく豊作だそうです♪

と毎年恒例のニュースにホッとしていたところ「新基地



作業船座礁でサンゴ広範囲で損壊」しかも恩納村の浅瀬で・・・?恩納村?理解できないしていると、年末の悪天候に備え本部の瀬底島付近で停泊していたがアンカーが切れて流されたとの事。作業船は造船所に運ばれ壊れた箇所を点検し修理するそうだ・・・ってコラ!破壊したサンゴも元に戻して!!

(沖縄 小平裕美)

# INFORMATION

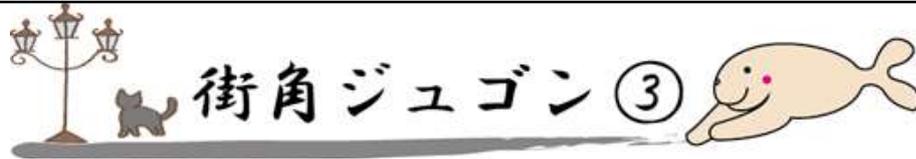
<首都圏・全国>

《 今後のスケジュール 》

<関西>

- ・第21回総会 4月18日(日)13時30分～  
総会はオンラインで開催します。詳細は次号
- ・5月下旬には政府交渉予定
- ・防衛省前行動(主催・辺野古実)  
第1月曜日 18時30分～

- ・2/21(日)集会「新基地建設どう止めるか」13:30～PLP会館  
主催 Stop! 辺野古新基地建設! 大阪アクション
- ・2/25(木)じゅごん茶話会 14:00～ SDCC 関西事務所
- ・3/13(土)「沖縄スパイ戦史」上映会 西宮勤労会館ホール  
10:00～ 14:00～ 主催 ZENKO・兵庫



今回の街角ジュゴンは、宣伝ポスターです。関西では、近鉄電車の難波駅から1本で鳥羽まで行くことができるので、毎年目を引く鳥羽水族館のポスターを駅で見ることができます。ただ、今年は新型コロナウイルスの影響でポスター展示はありませんでした。毎年楽しみにしていたのに残念でなりません。

写真は今までに展示されていた鳥羽水族館のジュゴンのセレナのポスターの写真です。どちらもすごく大きいサイズで見ごたえがあります。大きいというのがありますが、他のどのポスターよりも目立っていてインパクトがすごいです！さすがセレナちゃん！これを見ているといつもそばにセレナちゃんが居るようで心地よくて、癒されていました。夏の風物詩のような感じで、今年はどうなのかなーと、楽しみにしていたのに本当に残念です。

来年こそは、コロナが終息してまた展示されることを切に願っています！がんばれ！鳥羽水！ (関西 上田千鶴)



## 辺野古の海を埋め立てるのに 遺骨が眠ったままの本島南部の土を使うのか

マヨネーズ並みの軟弱地盤を埋め立てるのに、どれほどの土砂がいるのだろう。当初、県外から調達する計画だったが、外来種侵入の問題で行き詰まり、大半を沖縄県内で調達する計画に変更された。設計変更申請はまだ承認されていない。しかし、「糸満市・魂魄の塔横の鉾山の開発が始まり、このままでは遺骨混じりの土砂が辺野古の埋め立てに使われるおそれがあるということが大きな問題になっている」という(ブログチョイさんの沖縄日記より)。本島南部は沖縄戦の激戦地で、多くの住民が追いつめられ、逃げ場を失い、命を奪われました。今も遺骨は眠ったままです。現在、米軍基地キャンプシュワブがある場所は、戦後は大浦崎収容所でした。収容所でも多くの人が命を落とし、そこにも遺骨はまだ眠ったままです。その前の海に、南部の土砂を入れ、埋め立て、新しい基地を造ろうというのが辺野古新基地建設なのです。許されることではないのです。

(関西 池側恵美子)

ジュゴンちゃんぶるニュース VOL.114 2021年1月26日発行  
ジュゴン保護キャンペーンセンター Save the Dugong Campaign Center (SDCC)  
〒162-0815 東京都新宿区筑土八幡町2-21  
第1千代田ビル301 なかま共同事務所内 TEL/FAX 03-5228-1377  
○ <http://www.sdcc.jp/> ○ [info@sdcc.jp](mailto:info@sdcc.jp)  
(関西連絡先) 〒534-0025 大阪市都島区片町2丁目9番21号京橋ベース  
(旧野口ビル) 302 TEL/FAX 06-6353-0514

## 会費(2000円)&カンパ振り込み先

郵便振替:  
加入者名 ジュゴン保護キャンペーンセンター  
口座番号 00140-9-660199  
他行、コンビニからは: ゆうちょ銀行 ○○八支店  
口座番号 普通 8159084